



KSK あまねだより



(頒価 20 円)

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会
 222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階
 横浜市車椅子の会内

編集 あまね共同作業所
 239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1
 TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062
 2019年3月29日 第420号

余暇支援について

元号が令和に改元され、30年余り続いた「平成」の時代は幕を閉じました。「平成」をいろいろな角度から振り返るテレビ番組がこの連休中に放送されていました。家でそんなテレビ番組を見ながら、妻と「平成になる年は何していたかな?」と記憶を紐解き合ったのですが、妻は保育の専門学校の学生、私は当時、障害者地域作業所の浦上台作業所でまだまだフレッシュな職員として働いていました。妻との馴れ初めを告白するわけではありませんが、現在も夫婦で続けている「サークルかえる」という障害者のレクリエーション団体にボランティアとして、私と妻がそれぞれ参加するようになったのも平成元年でした。

少しサークルかえるのお話をさせていただくと、かえるが発足したのは1982年、当時は多くの在宅障害者が就労する場や働き活動する施設などがなく、長い間家庭に閉じこもっている人の「外へ出たい。」「仲間がほしい。」「何かやりたい。」という障害をもつ仲間たちのニーズに応えるため、故植島松雄さんの呼びかけに多くの福祉従事者や学生等が賛同し、ボランティアとして参加し、かえるの活動が始動しました。昭和にはじまり、平成、そして令和に引き継がれ、現在も月に一回のペースで、仲間たちとボランティア合わせて40名ほどがつどい、もちつき、カラオケ、みかん狩りなど様々なレクリエーション活動を行っています。

サークルかえるが発足した翌年、多くの障害をもつ仲間たちが在宅生活を余儀なくされていた時代、あまね共同作業所が誕生しました。この間、課題は多くありますが、仲間たちが日中活動できる場の選択肢は増えました。しかし、仲間たちの余暇やレクリエーションに関するサービスや法制度の整備は皆無と言っても過言ではありません。生活介護等に通う人などは年間120日前後の休日がありますが、地域で暮らす上で休日をどのように過ごすのかは大切なことです。休日の仲間たちのニーズにどのように応えていくのか?インフォーマルな支援に支えられている余暇支援をどのようにフォーマルな支援に変えていくのか、今後の私たちの宿題です。

「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律案」が国会で可決・成立しました。

旧優生保護法(1948年~1996年)下で障害者らに不妊手術が繰り返された問題で、被害者への「反省とおわび」と一時金320万円の支給を盛り込んだ救済法が4月25日に参議院本会議で全会一致により可決成立し、即日施行され、各都道府県の窓口で申請を受付し、早ければ6月にも支給が始まります。しかし、法案審議の段階で被害者を含む障害当事者の参加を認めず、意見聴取の機会すら拒んだことや一時金の支給額、その対象者に故人や配偶者は含まない限定的な救済になることなどの課題が残る結果となりました。

法案の成立に、国家賠償請求訴訟の全国被害者弁護団の新里共同代表は、「被害者の声が国会を動かした。だが、誰もが十分なものとは思っていない。」と述べ、全国7か所の地裁で行われている国会賠償請求訴訟は取り下げず、今後も原告を募り、改めて国に謝罪と賠償を求めていくとのこと。それに対し国は、全国の裁判所に請求棄却を求め争う構えです。5月28日には、仙台地裁で国家賠償訴訟の初判決が出される予定。(文責 山田)

ヘルパー募集

あまね支援センターでは、ヘルパーを募集しています。内容は知的に障がいのある人への外出介護等になります。

ヘルパー資格を持っていて、やる気のある人を募集しております。時間等も週1回、1時間から相談に応じます。
 詳しくは 046-833-2919 (担当: 藁谷)

資源回収にご協力ありがとうございます

3月実施分は
 17,441kgでした。
 (奨励金は69,700円)
 次回の日程は別紙にて
 お知らせします。
 問い合わせは9:00以降に
 お願いいたします。

☆スケジュール(5月)

- 2日(木) あまね出勤日
- 10日(金) 資源回収 岩戸・池田
- 11日(土) 資源回収 舟倉・若宮台
- 12日(日) きょうざれん神奈川支部総会
- 17日(金) ふれあい交流会
- 23日(木) ~ 24日(金) あまね一泊旅行
千葉方面



☆バザーの予定(5月)

- 18日(土) ~ 19日(日) カレーフェスタ
- 19日(日) 京急フェスタ
- 28日(火) 通研販売



【あまね共同作業所】
 秋元様・太田様・株式会社トワイ様・戸所様
 長島洋子様(順不同)
 資源回収の折、バザー用品や寄付などを頂きます。お名前を記せませんが、有効に活用させていただきます。



昨年の10月からあまね支援センターに入職しました、増子です。
サービス提供責任者をやらせて頂いています。と言ってもまだまだ見習いのような感じではありません。今までの私は、パートとして訪問介護や施設などに12年間携わってきました。
障害福祉については全くの素人でゼロからのスタート、大きなチャレンジだと思っています！気が付けば6カ月が過ぎ…少しずつではありますが、周りの方に迷惑をかけながらも何とか頑張っています。支援は楽しく癒しになり、気持ちをリフレッシュできる時間です。利用者様から学ぶことは多く、何気ない言葉や表情に改めて考える機会を与えて貰っています。落ち込んでいる時、利用者様からの挨拶と笑顔は大きな原動力になります！

支援センターでは、利用者様から支援依頼を頂き、ヘルパーさんへ依頼を行っています。

(通学、通所の送迎。余暇支援。居宅介護)

利用者様が自分らしく安心した生活を送れるよう、少しでもご希望に添えるように支援計画を行っております。例えば…週末の余暇支援で動物園に行き昼食を召し上がって帰宅。映画を見て夕食を召し上がって帰宅。など様々な支援を行っています。

支援センターの一日は忙しく、1カ月があつという間に過ぎてしまいます。朝から夕方まで電話が鳴らない日はありません。ヘルパーさんには季節気候に関係なくご協力頂いています。大変な依頼でも支援をして下さるからこそ、私達の仕事が成り立っていると思っています。感謝の言葉以外は見当たりません！！

支援センターは、前管理者が3月末で退職され、今は女性だけの職場になっています。今まで以上に気持ちを一つにし頑張っていきたいと思っております。これからも宜しくお願い致します。

ヘルパー募集

社会福祉法人あまねでは、ヘルパーを募集しています。内容は知的に障がいのある人への外出介護になります。

ヘルパー資格を持っていて、やる気のある人を募集しております。時間等も週1回、1時間から相談に応じます。

詳しいことは・・・046-833-2919

(担当: 葉谷 わらがや)

**ふきん販売に
ご協力ください！**
布地8枚重ね 3枚組
660円

ご注文は作業所まで

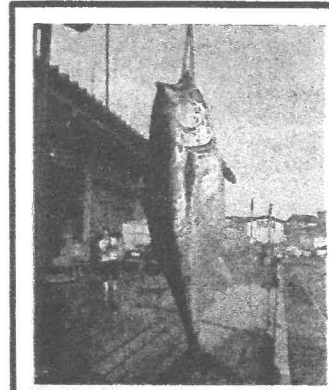
046-835-0723



白鳥
市の鳥と制定

私は青森県むつ市の出身です。少しではありますが下北半島のご紹介をしたいと思います。人口約98,200人、面積1,876.82km²。本州の最北端、青森県北東部の斧状に突出する半島。別名、鉾半島とも呼ばれています。ニホンザル、ニホンカモシカ、ツキノワグマが生息しています。東は太平洋、西は陸奥湾と平館海峡。半島は那須火山帯に属する恐山山地。その中央にはカルデラ湖の宇曾利山湖があり、その周囲に恐山霊場、地藏堂、宿坊などがあります。冬は積雪が多く2月の平均気温は零下4℃。夏は短く偏東風が吹き濃霧が発生します。夏でも暖房を使

用することがあります。恐山のヒバ林を中心に林業が盛ん。ヒバには天然の抗菌成分(ヒノキチオール)を含み高い防虫・防カビ・抗菌性能を持っている為ヒバのまな板は最高です！陸奥湾では、ホタテとワカメの養殖漁業が行われ、殻付きホタテの地方発送も行っております！是非召し上がってみて下さい！下北半島ではゆっくりと季節を楽しむことができます。機会がありましたら、ぜひ旅行に行ってみてほしいです！(^^)！



大間(おおま)

本州の最北端の町。黒いダイヤと呼ばれる黒マグロが水揚げされ、毎年年初競りでは高額に競り落とされる。今年3億3360円。天気が良い時は北海道、渡島半島が見える。



尻屋崎(しりやざき)

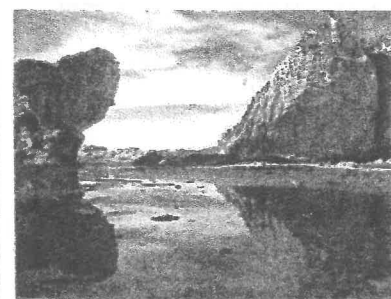
本州最北東端。明治9年イギリス人による設計。レンガ造り東北最古の洋式灯台。

寒立馬(かんだちめ)

一年中放牧され、足が短く胴長でずんぐり体形

仏ヶ浦(ほとげがうら)

白緑色凝灰岩が2km以上にわたり、奇異な形の断崖・巨岩が連なる海蝕崖地形。昭和16年(1941)天然記念物に指定される



恐山(おそれざん)

日本三大霊場の一つ。恐山大祭では亡き人の声を口寄せるイタコがいる霊場で有名。三途川を渡ればあの世と呼ばれる世界となり、現世に戻ることは出来なくなると言われている

